

人間福祉学科の教育目的・目標

1. 広い教養を身につけ、自立・自律した生活者としての行動規範を身につける。
2. 福祉専門職としての基本的な知識・技術・方法を学ぶとともに、個々の特性を伸長する。
3. 人間尊重の精神と豊かな人間性をもった福祉専門職として、問題解決・支援技術の方法を学ぶ。
4. 社会福祉専攻は、倫理性をもって、広い分野で活躍できるソーシャルワーカーや社会福祉の視点をもった医療事務従事者等を養成する。
5. 介護福祉専攻は、倫理性をもって、その人らしい生活への支援ができる介護福祉専門職等を養成する。

人間福祉学科のアドミッション・ポリシー

高等教育に備える基礎学力を身につけ、多様な個性、能力・特性を有し、学修意欲が旺盛で、福祉の専門職として将来活躍することを希望する学生を幅広く受け入れる。このため、次の点を重視する。

1. 福祉専門職としての知識・技術を学ぶために必要な基本的な能力（国語・英語力など）をもつ人
2. 福祉専門職として不可欠なコミュニケーション能力をもつ人
3. 利用者の自立・自律した生活支援の知識・技術の向上を図るために必要な基礎的知識（家庭・情報の教科など）をもつ人
4. 社会福祉専攻は、社会福祉に係る広い分野に興味・関心をもつ人
5. 介護福祉専攻は、介護福祉に係る広い分野に興味・関心をもつ人

人間福祉学科のカリキュラム・ポリシー

1. 人間と生活を理解するための基礎教育科目
2. 福祉の基礎を理解するための専門教育科目（必修）
3. 福祉の基礎を理解するための専門教育科目（選択）
4. 福祉を豊かに実践するための専門教育科目

人間福祉学科の学習成果

1. 自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている。
2. 福祉専門職としての基本的な知識・技術・方法を身につけている。
3. 人間尊重の精神と豊かな人間性を身につけている。
4. 社会福祉専攻は、社会福祉や医療事務に係わる専門的知識・技術・方法を身につけている。
5. 介護福祉専攻は、介護福祉に関わる専門的知識・技術・方法を身につけている。

人間福祉学科のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 自己および他者を理解し、自立・自律した生活者となることができる。
2. 福祉の意義を理解し、専門的な知識・技術や方法を身につけている。
3. 人間の尊厳を尊重し、福祉の仕事に生きがいをもって情熱を注ぐ基礎ができている。
4. 社会福祉専攻は、倫理性をもって、広い分野で活躍できるソーシャルワーカーや社会福祉の視点をもった医療従事者等になる基礎ができている。
5. 介護福祉専攻は、倫理性をもって、その人らしい生活への支援ができる介護福祉専門職になる基礎ができている。